

## ■公益財団法人服部報公会 概要

服部報公会は、昭和 5 年(1930 年)、株式会社服部時計店(現 セイコーホールディングス株式会社)の創業者初代社長服部金太郎が、その 70 回の誕生日にあたり、国家、社会の恩に報ずるの念をもって、私財 3 百万円を投じて設立した公益事業団体であります。

会の目的とするところは、社会の福祉を増進し公益に資することであり、このために次の事業を遂行することとしました。

1. 国家及び社会に対し有用なる発明発見または研究を成就したるものに対する感謝及び賞金の贈呈。
2. 一般学術の特殊なる研究または調査の奨励、援助。
3. 教育その他の公益事業に対する援助。
4. その他の本財団の目的を達成するために必要なる事業または出版を為すこと。

設立当時の役員は、理事長桜井錠二博士、理事に湯浅倉平、大河内正敏、矢野恒太、篠原三千郎の 4 氏、監事に穂積重遠、清水賢一郎の両氏が当り、評議員には学界ならびに政、官、財界の諸名士が名を連ねました。その後、服部金太郎が昭和 9 年に歿すると、嗣子 2 代社長服部玄三は、設立者の遺志を継いで、さらに私財 3 百万円を寄附し、ここに会の基金は 6 百万円に増強され、当時屈指の民間公益事業団体となりました。

会の発足以来今日に至る間に、我が国は、第 2 次世界大戦をなかにはさんでしばしば激動の波に洗われましたが、この間においても、会の事業は一度の中断もなく遂行されてまいりました。しかし戦後の激しいインフレの昂進によって、従来基金をもってしては事業の遂行が困難になりましたので、創立者の遺業に関係の深い会社のご協力や個人のご寄附によって逐次基金の増加を図り現在に至っております。

なお、当会は平成 24 年 1 月に公益財団法人へ移行いたしました。

平成 27年度 役員(理事、監事)、評議員、審査委員  
(平成 27 年 9 月 1 日現在)

代表理事	佐藤 壽芳	東京大学名誉教授
業務執行理事	中村 敏宏	事務局長 (常勤)
理事	瓜生 敏之	東京大学名誉教授、高知工科大学名誉教授
理事	工藤 徹一	東京大学名誉教授
理事	田中 英彦	東京大学名誉教授、情報セキュリティ大学院大学学長
理事	神谷 武志	東京大学名誉教授
理事	草間 三郎	元セイコーエプソン株式会社社長
監事	國生 一彦	弁護士
監事	大崎 仁	大学共同利用機関法人人間文化研究機構長特別顧問、 元文化庁長官
評議員	平井 英史	東京大学名誉教授
評議員	服部 真二	セイコーホールディングス株式会社代表取締役会長兼グループ CEO
評議員	中村 吉伸	セイコーホールディングス株式会社代表取締役社長
評議員	・ 裕之	東京大学名誉教授、豊田工業大学学長
評議員	矢部 彰	国立研究開発法人産業技術総合研究所特別顧問
評議員	三島 良直	東京工業大学学長
審査委員	佐藤 壽芳	東京大学名誉教授
審査委員	工藤 徹一	東京大学名誉教授
審査委員	田中 英彦	東京大学名誉教授、情報セキュリティ大学院大学学長
審査委員	佐藤 知正	東京大学名誉教授
審査委員	加藤 雅治	東京工業大学大学院総合理工学研究科教授
審査委員	一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科教授
審査委員	西郷 和彦	東京大学名誉教授、高知大学特任教授
審査委員	菊池 和朗	東京大学大学院工学研究科教授
審査委員	畑中 研一	東京大学生産技術研究所教授
名誉顧問	菅野 卓雄	東京大学名誉教授、東洋大学名誉教授

## 服部報公賞 概要

1931年(昭和6年)に第1回報公賞を贈呈して以来、毎年「報公賞」の授賞を行って現在に至っております、今年(令和2年)は第85回目の「報公賞」を贈呈することになります。現在は広く工学の進歩に貢献する研究を対象として公募をしており、特定の工学分野に限定していない点が大きな特徴として挙げられます。

「報公賞」の申請要領は、以下の通りです。

1. 報公賞の贈呈は工学の進歩に著しく貢献する研究を対象に行うもので、独創性と発展性の見地から工学の進歩への貢献度が特に顕著であると認められる研究業績を対象にします。
2. 報公賞は、原則として毎年1件とし、その研究者に報公賞金 1,00万円を贈呈します。
3. 受賞候補者は工学研究者および工学の基礎となる分野の研究者を含み、原則として他の著名な賞の受賞経験を持たない優秀な研究者に重点を置き、大学、研究所等の機関・部局長の推薦を受けた者とし、自薦は認めません。

また、過去の報公賞等の受賞者は以下の通りです。

### 〈報公賞受賞および工学研究奨励援助からの抜粋〉

#### <昭和時代>

##### ● 報公賞

強磁性単結晶に於ける磁性の研究	北海道大学教授	茅 誠 司	(昭和 10 年)
素粒子間の相互作用の研究	大阪大学助教授	湯 川 秀 樹	(昭和 13 年)
雪の研究	北海道大学教授	中 谷 宇吉郎	(昭和 13 年)
アミノ酸に関する研究	大阪大学教授	赤 堀 四 郎	(昭和 16 年)
睡眠の発現機序に関する研究	東京大学教授	時 実 利 彦	(昭和 40 年)
磁性体の光学的性質の研究	大阪大学助教授	望 月 和 子	(昭和 47 年)

##### ● 工学研究奨励援助金

宇宙線の研究	理化学研究所 主任研究員	仁 科 芳 雄	(昭和 8 年)
民間説話の資料蒐集ならびに出版		柳 田 國 男	(昭和 11 年)
大日本女性史第二巻招婿婚の研究		高 群 逸 枝	(昭和 14, 15, 23 年)

明治初年本邦地租改正関係資料 の蒐集整理研究ならびに複製	東京大学教授	我妻 榮	(昭和 17 年)
電子線回析法による耐熱耐蝕合金 保護皮膜の系統的研究	東京工業大学 助教授	桶谷 繁雄	(昭和 17、18 年)

### <平成時代>

#### ● 報公賞

半導体マイクロ構造における量子 効果とその応用	東京大学先端科学技術研究センター 教授	・ 裕之	(平成 2 年)
精密合成反応剤の分子設計	名古屋大学教授	山本 尚	(平成 3 年)
超短パルス高出力レーザーを 用いた高次高調波の研究	東京大学物性研究所 助教授	渡部 俊太郎	(平成 4 年)
量子効果半導体レーザーの先駆的 研究	東京大学生産技術研究所 助教授	荒川 泰彦	(平成 5 年)
非線形現象の理論解析及び 通信工学への応用	大阪大学 教授	長谷川 晃	(平成 5 年)
機能性リポソームの開発に関する研究	京都大学大学院工学研究科 教授	砂本 順三	(平成 7 年)
光ファイバとファイバへの光機能素子 集積技術の研究	東北大学電気通信研究所 教授	川上 彰二郎	(平成 8 年)
全反射 X 線法による極微量 工業分析の研究	東京大学大学院工学系研究科 教授	合志 陽一	(平成 9 年)
MOS デバイスのモデリングと シミュレーション	東洋大学 教授	鳥谷部 達	(平成 10 年)
衝撃波現象の数値および光学的 解明と環境および医用工学 への応用	東北大学流体科学研究所 教授	高山 和喜	(平成 11 年)
シリコンマイクロマシン技術 の先駆的研究とその応用	東京大学生産技術研究所教授 マイクロメカトロニクス国際研究センター長	藤田 博之	(平成 12 年)
酵素触媒を用いる高分子の 精密合成	京都大学大学院工学研究科 教授	小林 四郎	(平成 13 年)
エルビウム添加光ファイバ増幅器 (EDFA) の先駆的研究開発と 光通信への応用	東北大学電気通信研究所 教授	中沢 正隆	(平成 14 年)

過冷却金属液体の安定化と 高機能非平衡材料の創製・ 工業化の研究	東北大学金属材料研究所 教授 所長 井上 明久 (平成 15 年)
生分解性高分子の生合成と 材料設計に関する研究	理化学研究所主任研究員 東京工業大学教授 土肥 義治 (平成 16 年)
超高分解能光電子分光による 材料物質の電子機能性解明	理化学研究所主任研究員 東京大学物性研究所 教授 辛 埴 (平成 17 年)
透明酸化物電子活性材料に 関する研究	東京工業大学 フロンティア創造共同研究センター 教授 細野 秀雄 (平成 18 年)
常温接合と実装工学	東京大学大学院工学系研究科 教授 須賀 唯知 (平成 19 年)
デバイス物理の解明と このモデル化	広島大学大学院先端物質科学研究科 教授 三浦 道子 (平成 20 年)
活性点の精密制御による 環境対応型触媒反応系の開発	東京大学大学院工学系研究科 教授 水野 哲孝 (平成 21 年)
デジタルコヒーレント光通信に 関する研究	東京大学大学院工学系研究科 教授 菊池 和朗 (平成 22 年)
高次高調波による高出力 XUVコヒーレント光源の開発	独立行政法人理化学研究所 グループディレクター 緑川 克美 (平成 23 年)
高速ビジョンとその応用展開	東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授 石川 正俊 (平成 24 年)
ガーネット型シンチレータの開発と 放射線検出器への展開	東北大学金属材料研究所 教授 吉川 彰 (平成 25 年)
非線形誘電率顕微鏡の発明・実用化と 電子デバイス開発への応用	東北大学電気通信研究所 教授 長 康雄 (平成 26 年)